

次に示す次期の予定損益計算書に基づいて、各問に答えなさい。なお、仕掛品と製品の期首および期末棚卸高はないものとする。

予 定 損 益 計 算 書			
売 上 高	5,000個 × @1,600円	8,000,000円	
変 動 費	5,000個 × @ 960円	4,800,000	
貢 献 利 益	5,000個 × @ 640円	3,200,000円	
固 定 費		2,000,000	
営 業 利 益		1,200,000円	

問 1 損益分岐点の売上高および販売量を求めなさい。

売 上 高 円 販 売 量 個

問 2 希望営業利益1,600,000円を獲得する売上高および販売量を求めなさい。

売 上 高 円 販 売 量 個

問 3 希望売上高営業利益率20%を達成するための売上高を求めなさい。

売 上 高 円

問 4 上記、予定損益計算書の売上高を前提として、安全率および損益分岐点比率を求めなさい。

安 全 率 % 損益分岐点比率 %

下記のデータに基づき、各問に答えなさい。なお、期首と期末の仕掛品および製品の棚卸高は微量のため無視すること。

来期予想データ

売 上 高	80,000,000円	固 定 製 造 原 価	12,000,000円
変 動 売 上 原 価	36,000,000円	固 定 販 売 費	4,250,000円
変 動 販 売 費	8,000,000円	固 定 一 般 管 理 費	5,350,000円

問 1 損益分岐点の売上高を計算しなさい。

円

問 2 安全率および損益分岐点比率を計算しなさい。

安全率 % 損益分岐点比率 %

次の資料に基づき、(1) 営業利益、(2) 損益分岐点の販売量、(3) 損益分岐点の売上高、
(4) 売上高営業利益率40%をあげるために必要な売上高はいくらか計算しなさい。

販 売 価 格	10,600円
販 売 量	5,000台
直 接 材 料 費	6,000,000円 (変動費)
直 接 工 賃 金	4,000,000円 (うち、固定費が3,000,000円)
間 接 工 賃 金	1,400,000円 (うち、変動費が1,000,000円)
その他の労務費	1,000,000円 (固定費)
製 造 経 費	22,000,000円 (うち、変動費が2,000,000円)
販 売 費	900,000円 (うち、変動費が600,000円)
一 般 管 理 費	1,800,000円 (固定費)

(1) 営業利益 円

(2) 損益分岐点の販売量 台

(3) 損益分岐点の売上高 円

(4) 希望売上高営業利益率をあげる売上高 円

K工業株式会社では、次期の利益計画を策定するにあたって、次の資料を入手した。そこで、次の資料に基づいて各問に答えなさい。

〔次期計画財務データ〕

1．販売データ

- (1) 販売量 125,000個
- (2) 販売価格 1,450円 / 個

2．原価データ

(1) 製造原価

- 変動費 700円 / 個
- 固定費 25,000,000円

(2) 販売費および一般管理費

- 変動販売費 170円 / 個
- 固定販売費 14,340,000円
- 固定一般管理費 17,500,000円

問1 上記計画財務データに基づき、損益計算書を作成しなさい。

損 益 計 算 書 (単位: 円)	
売上高	()
変動費	()
貢献利益	()
固定費	()
営業利益	()

問2 損益分岐点の売上高および損益分岐点の販売量を求めなさい。

売上高 円 販売量 個